

## 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業 東北地域

# 令和3年度広域アクションプラン策定事業 東北地域業務の概要

---

令和4年2月

東北地方環境事務所  
(日本エヌ・ユー・エス株式会社)

# 事業概要（令和3年度）①

## ◆ 気候変動適応東北広域協議会の運営・開催



### <構成員>

- ・都道府県、政令指定都市、その他市町村※
- ・地方農政局、地方整備局、地方運輸局、  
地方経産局、管区気象台等国の地方支分部局
- ・地域気候変動適応センター、研究機関、有識者
- ・地域地球温暖化防止活動推進センター※
- ・地域の気候変動適応に関係を有する事業者等※
- ・その他

※地域の状況により、必要に応じて参加

### <アドバイザー>

敬称略 五十音順 ※座長

氏名	所属
伊藤 進一	東京大学大気海洋研究所 教授
大澤 剛士	東京都立大学都市環境科学研究科 准教授
風間 聰	東北大学大学院工学研究科 教授
後藤 友明	岩手大学農学部 教授
野尻 幸宏※	弘前大学理工学研究科 教授
増本 隆夫	秋田県立大学生物資源科学部 教授

## 事業概要（令和3年度）②

### ◆ 気候変動適応に関する普及啓発活動

- ・企業等を対象としたセミナー（1月 福島県を対象としてWebで開催）
- ・自治体職員等を対象に暑熱適応策（熱中症対策）に関する研修会（8月東北地域の職員を対象にWebで開催）

### 【令和3年度 スケジュール】

活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域協議会					8/25 ▲ 第6回						2/22 ▲ 第7回	
懇談会				7/28 ▲ 第3回							3/10 ▲ 第4回	
雪分科会				7/21 ▲ 第3回						1/14 ▲ 第4回		
水産分科会				7/29 ▲ 第3回						1/17 ▲ 第4回		
生物季節分科会			6/29 ▲ 第3回						生物季節観察会	1/19 ▲ 第4回		
普及啓発活動					8/6 ▲ 自治体向け研修会						1/26 ▲ 企業向けセミナー	

### 【実施体制】

環境省  
気候変動適応室  
東北地方環境事務所

日本エヌ・ユー・エス株式会社

# 懇談会

## 第3回 懇談会

日時：令和3年7月28日（水） 10:00～12:00  
方法：WebExによるオンライン形式

### 1. 令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰講演

**講演：「気候変動に対応する農業技術開発の取り組み」**

（青森県立名久井農業高等学校 環境研究班）

### 2. 気候変動影響への事業者の適応策

**講演：「温暖化による日本酒造りの影響」**

（北海道旭川市 高砂酒蔵株式会社  
企画部長 廣野 徹氏）

**講演：「143年目の決断」**

（北海道東川町 三千桜酒蔵株式会社  
代表取締役社長 山田 耕司氏）

【参加者】合計45名

（自治体関係者24名、国立環境研究所3名、  
環境省11名、地域事業者7名）

## 第4回 懇談会

日時：令和4年3月10日（水） 13:15～16:00  
方法：WebExによるオンライン形式

### 1. 基調講演

**講演：「IPCC AR6WG2解説（仮）」**

（弘前大学大学院理工学研究科 教授 野尻幸宏氏）

### 2. 令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰講演

**講演：「漁業のまち気仙沼での木質バイオマスを活用した地域内循環の取組（仮）」**

（気仙沼地域エネルギー開発株式会社  
代表取締役社長 高橋正樹氏）

### 3. 分野別気候変動影響及び適応策に関する講演

**講演：「媒介節足動物の分布と感染症、気候変動との関り（仮）」**

（国立感染症研究所 昆虫医科学部 沢辺京子氏）

**講演：「気候変動影響及び適応策に関する経済評価手法の開発（仮）」**

（東北大学大学院経済学研究科 教授 日引聰氏）

# 気候変動の影響への適応 ランチタイムセミナー

## 第1回

日時：令和3年9月28日（火） 12:10～12:55  
方法：WebExによるオンライン形式



講演：「気候変動と狩猟環境～野生動物とどう向き合っていくべきか～」（山形県小国町獵友会 蛭原 紘子 氏）

【参加者】合計140名（自治体関係者51名、国地方支部局58名、一般参加者31名）

## 第2回

日時：令和3年10月14日（木） 12:10～12:55  
方法：WebExによるオンライン形式



講演：「気候変動で雪は増える？減る？」（気象庁 気象研究所主任研究官 川瀬宏明氏）

【参加者】合計156名（自治体関係者60名、国地方支部局57名、一般参加者39名）

## 第3回

日時：令和3年10月28日（木） 12:10～12:55  
方法：WebExによるオンライン形式

講演：「雪崩発生のメカニズムと気候変動」（国立研究開発法人 防災科学技術研究所雪氷防災研究部門 中村一樹氏）

【参加者】合計120名（自治体関係者40名、国地方支部局47名、国立研究開発法人8名、一般参加25名）



# 普及啓発活動

## 今年度の活動結果（市民/企業向けセミナー）

### 「変わりゆく東北の気候～事業者はどう向き合うのか～」

日時：令和4年1月26日（水） 13:00～16:00

方法：WebExによるオンライン形式

#### 講演：「気候変動による影響と適応」

（国立環境研究所気候変動適応センター 吉川圭子 副センター長）

#### 講演：「気候変動への事業者の適応」

（国立環境研究所気候変動適応センター 阿久津正浩 研究調整主幹）

#### 講演：「福島県における気候変動対策」

（福島県生活環境部環境共生課）

#### 講演：「事業者における適応事例リレートーク」

＜気候リスク管理＞（株式会社構造計画研究所、株式会社SKホールディングス）

＜適応ビジネス＞（えひめ南農業協同組合、株式会社フミン）

【参加者】合計30名（一般企業等28名、自治体関係者2名）

## 今年度の活動結果（自治体向け研修会）

### 「自治体の熱中症適応策に係るセミナー」

日時：令和3年8月6日（金） 13:15～16:00

方法：WebExによるオンライン形式

#### 講演：「熱中症の基本」

（帝京大学医学部救急医学講座 三宅康史 教授）

#### 講演：「国内における取組事例」

（国立環境研究所 小野雅司 客員研究員）

#### 自治体事例紹介

（群馬県館林市、埼玉県行田市保健センター、岩手県）

#### パネルディスカッション

#### 「自治体における熱中症適応策の課題と展望」

（国立環境研究所、群馬県館林市、埼玉県行田市保健センター、岩手県）

【参加者】合計36名（自治体関係者21名、環境省12名、気候変動適応センター2名、国立環境研究所1名）

## 実施計画（令和2-4年度）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民/企業向けセミナー	市民向けセミナー 「あおもりのくらしセミナー～知ろう、考えよう、気候変動に適応するということ～」	企業向けセミナー 「変わりゆく東北の気候～事業者はどう向き合うのか～」（Web）	市民/企業向けセミナー
自治体向け研修会	「気候変動への適応、秋田県の気候変動への理解を深めることー」（秋田県）	「自治体の熱中症適応策に係るセミナー」（Web）	自治体向け研修会

※来年度のセミナーの対象者・開催場所や、自治体向け研修会のテーマについては、今年度の開催状況を踏まえて検討予定。